



性暴力被害のご理解とさらなる被害者支援の強化をお願いします

(公社)ふくしま被害者支援センター理事 野口まゆみ
(福島県被害者等支援連絡協議会会長)



日頃より、性犯罪・性暴力被害者支援にご尽力いただいております
公益社団法人ふくしま被害者支援センターの皆様方、そしてこれらの
活動を支えて下さっている会員の皆様方に心よりお礼を申し上げます。
婦人科クリニック開業医として診療現場で性被害者に携わってきましたが、被害にあられた方への
支援は医療だけでは充分ではないと常々思っていました。平成25年4月にふくしま被害者支援
センター、福島県産婦人科医会、福島県警察本部の三者で協定を締結し、性暴力等被害者救援協力
機関(通称:SACRAふくしま)を立ち上げ、被害にあられた方の相談対応から医療機関や警察署、
裁判所への付き添い、カウンセリングなどの精神的ケアや日常生活の支援までをワンストップで
対応できる連携が始まりました。平成29年9月からは福島県、福島県教育委員会も加わり、「警察
に相談できない被害者」に対する医療費助成措置がとられ、経済的負担を軽減し、SACRAふくしま
への相談が容易になりました。また小中高校生の教育現場で性被害に関する理解を伝えることによ
り、性被害を傍観することなく、被害者だけでなく加害者も作らないというより積極的な活動
を始めております。

性被害は被害者の尊厳を著しくふみにじる行為であり、被害者の心身への影響は長期にわたり
重大で、『魂の殺人』ともいわれます。レイプ被害者の半数程度にPTSD症状があるとされ、外出が
できなくなり、そのために仕事をすることもできないなど、その後の日常に多くの不都合を抱え、
常に不安と鬱いながらの生活を送らざるをえなくなります。しかし社会的には被害の深刻さに気付
かれにくく、『レイプ神話』ともいわれる無知からくる誤解や偏見が多く存在します。加害者が顔見
知りであることも多く、親・祖父母、兄弟などの親族や教師・コーチ、職場やバイト先の同僚・上司
など自分の生活を支えている人や友好的だと思っている人から被害を受ける事もあり、被害を言い
出しにくいあるいは被害という認識すら持ちにくい状況にあることもあります。このように対等で
ない立場を利用した卑劣な加害であるにもかかわらず、性被害は非常に理解されにくい被害なのです。
さらに被害者が勇気を出して相談しても、医療機関や警察など支援する立場の側から二次被害を
受ける事もあり、さらに被害を誰にも話さなくなることもあります。性被害の本質を理解してい
ただくことも、大切な被害者支援になります。

国は性犯罪・性暴力対策の強化方針を打ち出し、10月1日より内閣府に男女間暴力対策課を新
設し、ワンストップ支援センターの全国共通ダイヤル(#8891)を開始しました。前会報にありま
したが、本県ではまだ地方自治体による『犯罪被害者等支援条例』が制定されていません。性被害
を少しでも減らすためには、被害者支援に特化した条例を制定し、支援センター拠点化をさらに
進め、性被害者に対するワンストップ支援の機能を高めていく必要があると思っております。
今後とも「ふくしまの空」に集う皆様方に、さらなるご支援とご協力を願いいたします。

- センターニュース -

●各種研修会を開催

被害者に寄り添った支援活動を行うために各種研修会を開催しました。

インテーク会議では、県警・大学院教授・臨床心理士・公認心理士・弁護士を講師に招き、ひとつひとつ相談や支援への対応方法についてアドバイスを頂きながら、支援が適切にできるよう学びました。



全体研修会の様子



インテーク会議の様子

日 時	研修テーマ	講 師	内 容	参 加 者
7月14～20日	第1回 全 体 研 修 会		裁判傍聴	17名
7月28日(火)	第1回 インテーク会議	県警・大学院教授・臨床心理士・ 公認心理師・弁護士		19名
8月6日(木)	第2回 全 体 研 修 会	NPO法人千葉性暴力被害支援センター ちさと	支援員としての心構えに ついて	18名
		損害保険料率算出機構	被害者支援のために	
9月24日(木)	第2回 インテーク会議	県警・大学院教授・臨床心理士・ 公認心理師・弁護士		19名
10月22日(木)	第3回 全 体 研 修 会	弁護士	被害者を支援するための 法制度	19名

【支援員から一言】～性犯罪の裁判員裁判の傍聴研修に参加して～

養成講座で裁判の仕組みや支援員が裁判傍聴に付き添う意義について勉強したはずでしたが、実際に裁判所に入るのも法廷に入るのも初めてで非常に緊張しました。

裁判長が入廷して、全員が起立して礼をして厳肅な空気の中肅々と審議が進んで行きました。

裁判ですので事実関係を正確に伝えることは当然なのですが、リアルに被告人(犯人)の行動や言動が伝わる度に、被害者の気持ちを思うと胸がつぶれる思いがして裁判にした勇気に敬服の念を抱きました。

もし、これがわが子だったら、身内だったらと考えると言葉にできない悔しさや辛さがあふれ、どんなに心細い思いになるだろうと思いました。

裁判の付き添いは大事な支援の一つと習いました。

支援員がそばに居ることで少しでも安心してもらえるように事前に信頼を得る努力をすることが大切だと思いました。

想いをめぐらすことができ貴重な経験ができた研修でした。

支援員N・K

●全国被害者支援フォーラム2020

令和2年10月16日(金)に開催した全国被害者支援フォーラム2020は、新型コロナウイルス感染症対策として、当センターでは当センター事務室においてオンラインにて参加し、被害者の声等を聴講しました。



ホンデリング～本で広がる支援の輪～

本のご寄付で被害に遭われた方々への支援のご協力お願いいたします。

このような本が、支援につながります

★本の場合



★CD・DVD・ゲームの場合



不要になった本・
CD・DVDを箱に詰
める。
5冊以上



ふくしま被害者支
援センターに電話
する。
(024-533-7830)



宅配業者がご指
定の時間に引き取
りに伺います。(1回の
集荷は3箱以内)



査定され、買取相
当額が当センターに
寄付されます。
※発送費用は不要
です。



【寄付につながらない商品】

以下の商品はお取り扱いができませんので、送らないでください。

「ISBN」のない本 百科事典 コンビニコミック 個人出版の本
マンガ雑誌 一般雑誌 同一タイトル本11点以上
シングルCD 投票券等特典付きCD 起動しないゲーム機・ソフト
ケース及びディスクが欠品しているゲーム・DVD

規格品番がないもの 違法なもの 海賊版・コピー・サンプル

「児童買春・児童ポルノ禁止法」(関連法令含む)に抵触する恐れのある全ての商品

「警察官実務六法等の警察法令関係」の書類は、飽和状態のためご遠慮ください。

2010年以前に出版された本の多くは、価格がつけられないためご遠慮ください。



【仕分けのツール】

提携先の(株)バリューブックスのサイトでは、スマートフォンから写真を撮ると、大まかな寄付金額が分かるサービス「本棚スキャン」があります。

仕分けの際にぜひご活用ください。「本棚スキャン」へは、左記QRコードからアクセスしてください。

【募金箱設置のご案内】

施設関係や企業及び団体に設置のご協力を
お願いしています。

ご連絡いただければ、募金箱をお届けします。



寄付型 → **被害者支援自動販売機で
犯罪被害者を支援する
活動のパートナーに
なってください。**

**既設の自動販売機を
活用できます。**

**寄付金は自由に
設定可能です。**

飲料代金から売上金の一部を
犯罪被害者支援活動に寄付してください。

PRスペース(写真赤枠)に
貼付けるだけで設置終了です。
貼付けの費用はかかりません。

ごく簡単! 設置登録料金: 1,000円(税込)
設置料金: 月額 1,000円(税込)
電話番号: 024-533-9600
受取時間: 10:00～16:00

被害者支援自動販売機の設置協力企業 (順不同・敬称略)

- (株)伊藤園
(株)サン・ベンディング東北
(株)サン・ベンディング福島
(株)サン・ベンディング相馬
(株)サン・ベンディング白河
(株)ジャパンビバレッジホールディングス
サントリービバレッジサービス(株)
(株)ジャパンビバレッジ東北
キリンビバレッジ(株)
福島ヤクルト販売(株)
郡山ヤクルト販売(株)
ダイドードリンコ(株)
コカ・コーラボトラーズジャパン(株)
三本コーヒー(株)
FVジャパン(株)
酪王乳業(株)
図南商事(株)



賛助会員募集中

当センターは、活動経費の多くが皆様の会費、ご寄付により運営されています。

年会費 ○ 個人…1□ 2,000円より ○ 法人・団体…1□ 10,000円より

福島県公安委員会指定「犯罪被害者等早期援助団体」
公益社団法人ふくしま被害者支援センター

<http://www.vsc-fukushima.net/>

〒960-8002 福島市森合町14-6(福島中央郵便局向かい) TEL/FAX 024-533-7830

*当センターは公益法人です。会費を納めたり、寄付をした場合は税法上の優遇措置があります。

*寄付は金額を問いません。